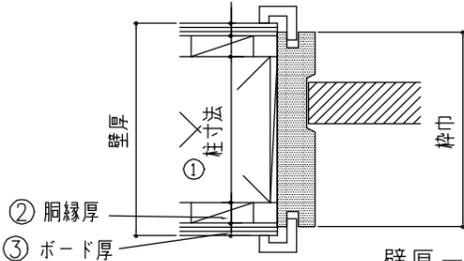


販売店様・加工店様へのお願い

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていただく事」を示しています。

- 注意** ・ホームテリア商品は常に湿気のある場所へのご使用は避けてください。
- 注意** ・直射日光に当たる場所への保管は避けてください。
- 注意** ・施工時、雨が掛からない様にご注意ください。
- 注意** ・ケーシングは壁・床仕上げ後、取付けてください。

壁厚に対する枠（枠巾）の選び方 \*枠とケーシングは壁厚によって使い分けてください。



対応壁厚	タイプ	枠寸法	ケーシング足寸法
112~125	薄壁	枠巾110	24mm
			31mm
126~141	薄壁	枠巾110	24mm
			31mm
142~155	厚壁	枠巾140	24mm
			31mm
156~170	厚壁	枠巾140	31mm

壁厚 = ①柱寸法 + ②胴縁厚 × 2 + ③ボード厚 × 2

室内引戸梱包形態

\*サイズは製品記号中のサイズ記号を示す

梱包形態	梱包内容	引違い2枚引	居室用片引き	トイレ用片引き		
		*620	*620	*220	*620	
本体梱包	扉本体	R 1 L 1	1	1	1	
	大型引手					
枠梱包	上枠(幕板、レール付き)	1	1	1	1	
	縦枠	2	1	1	1	
	中方立		1	1	1	
	縦枠(小)		1	1	1	
	寸法定規	1	2	2	2	
	部品・ビスセット	枠取付ビス+ベタッピン1種φ4x55	16	21	19	19
		枠組立ビスφ4x57	4	4	4	4
		上吊車	4	2	2	2
		ガイドピン	2	1	1	1
		ガイドピン取付ビス丸ネジφ3.1x20	6	3	3	3
		振れ止め	2	1	1	1
		振れ止め取付ビス皿ネジφ3.1x16	4	2	2	2
		ビス穴塞ぎ	10	10	10	10
ストッパー		4	2	2	2	
施工マニュアル		1	1	1	1	
ケーシング梱包	上ケーシング	2	2	2	2	
	縦ケーシング	4	4	4	4	

開口部の作り方

製品寸法表 単位: mm

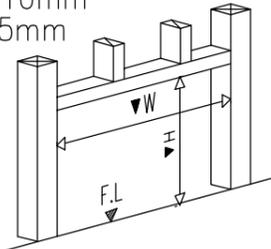
機種	サイズ	W	H
引違い戸2枚引き	*620	1643	2040
	*820	1825	2040
居室用片引き戸	*620	1643	2040
	*820	1825	2040
トイレ用片引き戸	*220	1190	2040
	*620	1643	2040

\*サイズは製品記号中のサイズ記号を示す

開口部は差し金、下げ振り等を使用して水平・垂直にご注意ください。

製品寸法(W, H)を確認した上、下記の寸法を参照して開口部を作ってください。

開口▼W = W + 10mm  
開口▼H = H + 5mm



縦枠の切り詰め

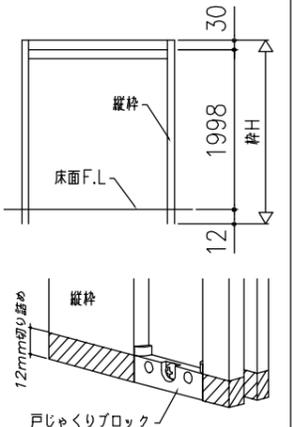
\*床面から枠開口に1998mmに設定してください。縦枠の下端は床面より12mm長く設定してあります。納まり方によって、縦枠の切り詰めが必要となります。

1) 床を後貼りする場合

床厚 < 12mm	床を付けた後、下記2)の手順に従ってください。
床厚 = 12mm	縦枠の切り詰めは必要ありません。
床厚 > 12mm	縦枠の真下に厚さ(床厚-12)の木板(現場調達)を詰めてください。

2) 床を先貼りする場合

- 縦枠下端の戸じゃくりブロックを取り除いてください。
- 床の厚さに関わらず縦枠下端から12mm切り詰めてください。

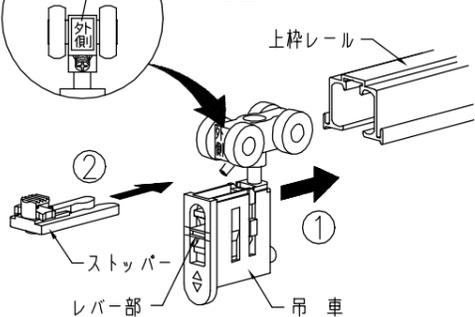


枠の組立て

図のように各部材を組合せ、同梱の組立ビス(皿木ネジφ4x57)でしっかり固定してください。

注意

枠は吊車とストッパーを上枠レールに入れてから組立ててください。

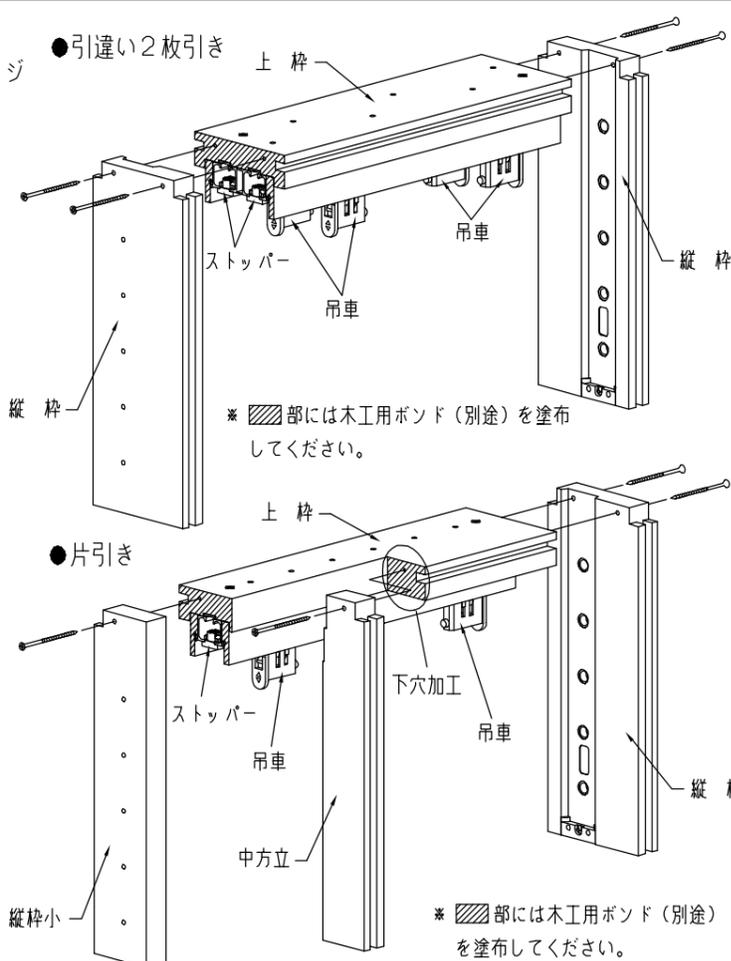


- 吊車を「外側」シールを貼った面及びレバー部が外向きになるようにレールに入れてください。方向を間違えると扉の上下調整ができなくなります。
- 吊車を入れた後、ストッパーを上枠レールに差込み、軽くビスを締めてください。

お願い

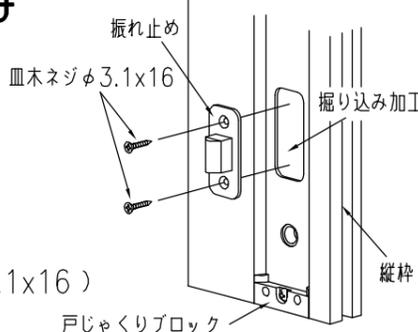
下穴加工

中方立取付時には上端を上枠の面に合わせて右図参照にてφ2.5のきりで、深さ33mmの下穴をあけてください。下穴加工を怠りますと枠部材に亀裂がはいることがあります。



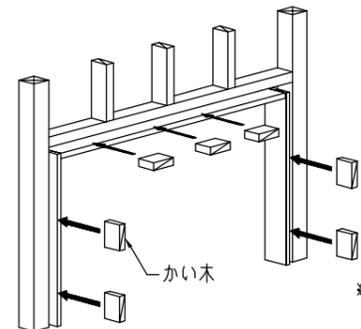
振れ止めの取付け

枠に同梱された振れ止めを必ず取付けてください。右図のように縦枠の下端に振れ止めを取付ける掘り込み加工があります。そこに振れ止めを押込み添付のビス(皿木ネジφ3.1x16)で固定してください。



枠の取付け

① 枠取付開口部の確認

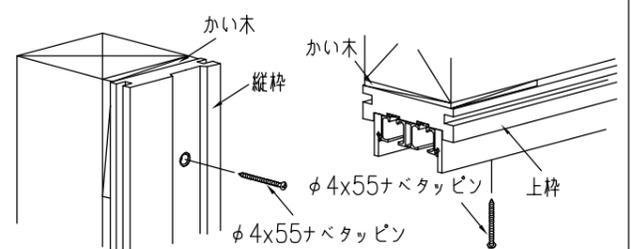


開口部と枠(上枠、縦枠、中方立、縦枠小)の間にかい木を入れて取付けてください。

\*縦部材の下端の内寸法を正確に出す為同梱の寸法定規を使用してください。

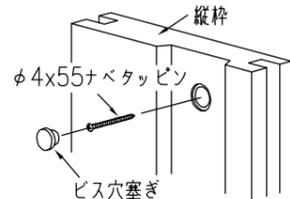
② 枠の固定

枠取付開口部を確認後枠の出入りに注意して下図のように縦枠、上枠の順に添付のビス(タッピン1種ナベφ4x55)で枠を固定してください。



③ ビス穴塞ぎとシールの取付け

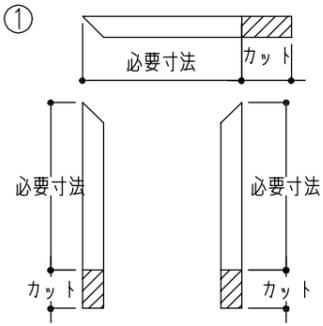
縦部材には添付のビス(タッピン1種ナベφ4x55)で固定した後、ビス穴塞ぎを挿入してください。



中方立は裏面に接着材を塗布し、カクシ釘(別途)で固定してください。

### ■ ケーシングの取付け

※ケーシングの取付けは壁・床材仕上げ後です。



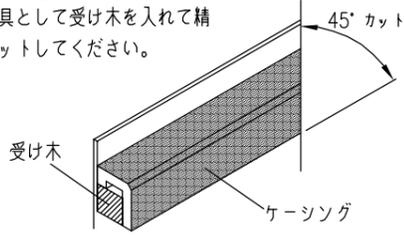
ケーシングは長めに切断してあります。現場寸法に合わせてカットしてください。参考必要寸法 (単位: mm)

	W	必要寸法	
引き違い上枠用	1643	1669	
	1825	1851	
	W	必要寸法(大)	必要寸法(小)
片引き上枠用	1190	1216	630
	1643	1669	856.5
	1825	1851	1012.5

※縦枠用はフロアー面より算出してください。

② ケーシングの留め切りは、ケーシングの裏面に受け木をかませ、45° 斜めカットをしてください。

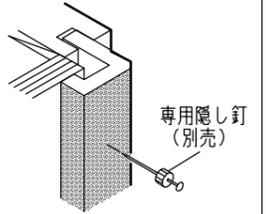
ケーシングの留め切断時には、ケーシング裏面に治具として受け木を入れて精度よくカットしてください。



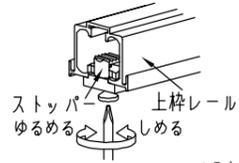
③ ケーシングの足を枠のケーシング用溝に差し込んでください。

④ ケーシングを木工用ボンド(別途)で枠に固定してください。

- ・ボンドが乾くまでの仮止めに専用カクシ釘(別途)をご利用ください。
- ・カクシ釘の頭をとばした後パッチャルペンシル材(別売)で補修してください。



### ■ ストッパーの固定



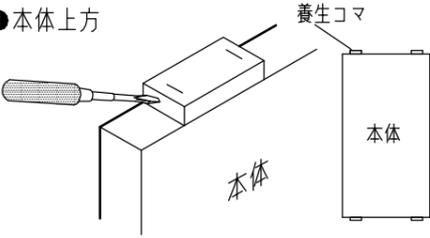
予め鴨居レールに差込んだストッパーのビスをゆるめて、ストッパーのビス側をレール端部に合わせてビスをしめてください。

※ストッパーはレールの両端部に取付けます。

### ■ 養生コマの取り外し

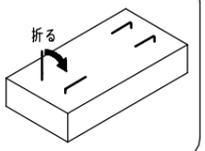
本体の吊り込みの前に、本体を養生しているコマ(木片)を取り外してください。

#### ● 本体上方

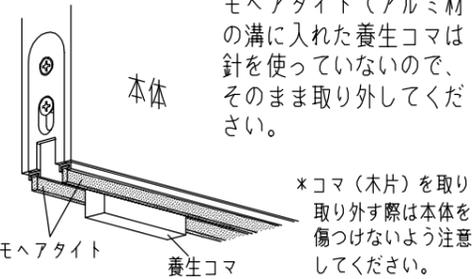


#### ⚠ 注意

外したコマは針が飛び出ているのでケガをしないように折り曲げて処理してください。



#### ● 本体下方

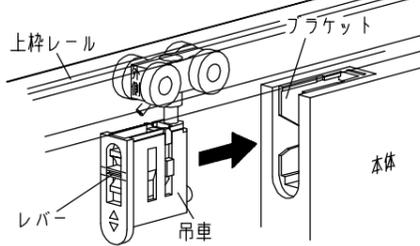


モヘアタイト(アルミ材の溝)に入れた養生コマは針を使っていないので、そのまま取り外してください。

※コマ(木片)を取り外す際は本体を傷つけないよう注意してください。

### ■ 本体の吊り込み(床貼り後)

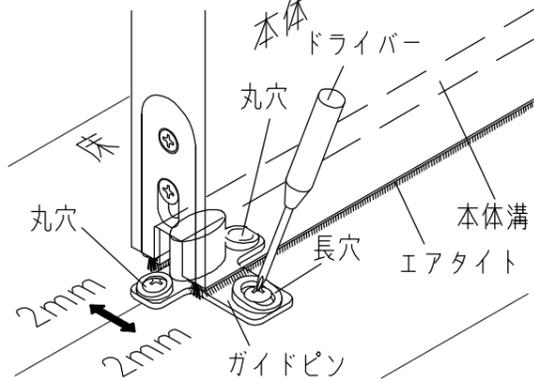
- ・本体と吊車を上図のように配置してください。
- ・吊車のレバーを人差し指で下げながら水平に本体側のブラケットに押込んでください。
- ・吊車を本体のブラケットに入れてからレバーを離してください。



### ■ ガイドピンの取付

#### ● 取付手順

- ・下図のようにガイドピンの突起部を本体下端の溝に平行に挿し込み(長穴が本体の外側にくるようガイドピンの入れる方向に注意)床のしるしに長穴のセンターがくるようガイドピンを仮に固定してください。
- ・添付のビス(丸木ネジφ3.1x20)で長穴部のみ軽く締めてください。
- ・本体を開閉操作しながらガイドピンの丁度よい位置を決めて、添付のビス(丸木ネジφ3.1x20)で丸穴部と長穴部を締めてください。
- ・ビス固定箇所については、本体を開ける時に見える穴2ヶ所とします。但し、片引きタイプの場合には本体を開ける時もう1ヶ所の穴も見えるのでそこも添付のビスで固定してください。



### ■ 表示錠取付けとの向きについて

#### お願い

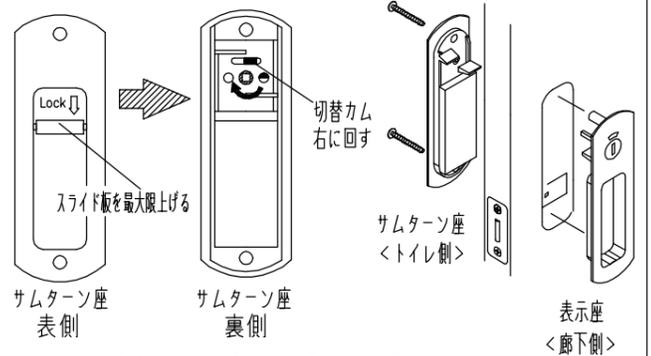
表示錠は工場出荷時に下記の向きで取付けられています。



表示座とサムターン座を入れ替えたい時は下記の要領で行ってください。

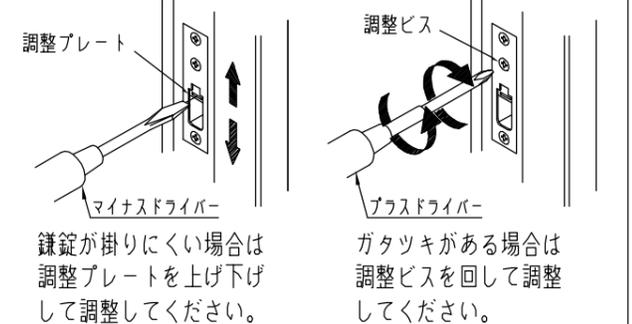
#### 切替方法

まず、下記のようにビスを外し、表示錠を外して下さい。切替はスライド板を最大限まで上に押し上げた状態で、切替カムを右方向へ止まるまで回転させて下さい。切替後は作動確認を行って下さい。



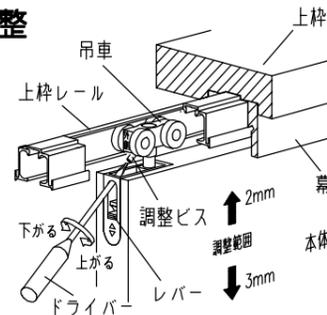
### ■ 表示錠(鎌錠)受けの調整

鎌錠が掛りにくい場合又はガタツキがある場合は錠受けで調整できます。

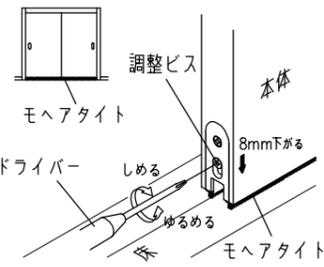


### ■ 本体の建付調整

右図のようにドライバーを使って、吊車の調整ビスを回す事によって本体は上へ2mm、下へ3mmまで建付調整ができます。



### ■ モヘアタイトの調整

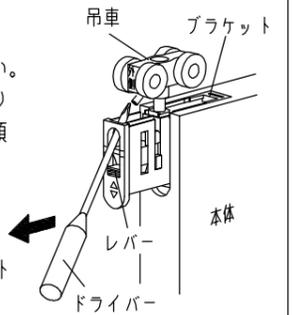


本体下端のモヘアと床の間に隙間がある場合モヘアタイトの調整を行ってください。モヘアタイトは本体両側面から調整ビスで固定してあります。両側共に調整ビスをゆるめモヘアが床に接する位置まで下げ、ビスを締めて固定してください。

### ■ 本体の外し方

本体を外す前に床のガイドピンを外してください。本体は上方面サイドの吊車をブラケットから取り外す事により外せます。吊車の外し方は次の手順にて行ってください。

- ・図のようにドライバーを吊車に貫通させてください。
- ・ドライバーでレバーを押し下げながら吊車を外側(矢印方向)に引き抜いてください。



### ■ 参考納まり図

[引違い2枚引き] 規格品寸法一覧表 単位:mm

機種	サイズ	W	H	DW	DH
引違い戸2枚引き	* 620	1643	2040	867	1966
	* 820	1825	2040	958	1966

\* サイズは製品記号中のサイズ記号を示す

[片引き,引き分け] 規格品寸法一覧表 単位:mm

機種	サイズ	W	H	DW	DH	A	B
トイレ用片引き戸	* 220	1190	2040	585	1966	556	586
	* 620	1643	2040	811	1966	782.5	812.5
居室用片引き戸	* 620	1643	2040	811	1966	782.5	812.5
	* 820	1825	2040	967	1966	938.5	838.5

\* サイズは製品記号中のサイズ記号を示す

